

随想 85

「ボランティア活動」を振り返って

川 島 昭 成（新町）

若い頃から、BBSという不幸にして非行や罪を犯した少年たちの更生を手助けする活動を30数余年余り続け、地区・県・九州の会長を歴任し、少年たちとの友達活動やその自立更生を手助けしたりしてきました。

夜中に少年の家族から呼び出され、少年を探しまわったり、シンナー吸引の場に行ってそれを取り上げ中止させたりもしました。

そうしたボランティア活動仲間が全国に居て、多くの友と情報の交換を今でもしています。

その続きで、現在は法務大臣の委嘱を受け他のボランティアに携わっています。

また数年前までは、障害のある人たちのNPO法人の設立にも係わり、障害のある人たちの就労と日常生活支援を行ったりしました。

振り返ってみると、ボランティアづくめの人生だったのかなとも思われる。

我ながら良くやっているなというより、それを陰で支えてくれている家族、特にパートナーに感謝するばかりである。



次号(平成 23 年 12 月号)は田口知子さん(下町)にリレーされます。



こちら119

久留米広域消防本部
三井消防署
☎ 72-5101(代)

住宅防火対策

毎年、火災によって多くの尊い命が奪われています。火災はちょっとした気の緩みや不注意から発生しています。火災は、一人ひとりが防火に対する意識を持つことで未然に防ぐことができます。そのためには防火に対する習慣を身につけるとともに、住宅用火災警報器等を設置するなどの対策を行いましょう。

★『いのちを守る』7つのポイント★

【3つの習慣】

・寝たばこは、絶対やめる。	・ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。	・ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

【4つの対策】

・逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。	・寝具や衣類からの火災を防ぐために、防災製品を使用する。	・火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。	・お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。